

Toyoshina Town

信州 安曇野 豊

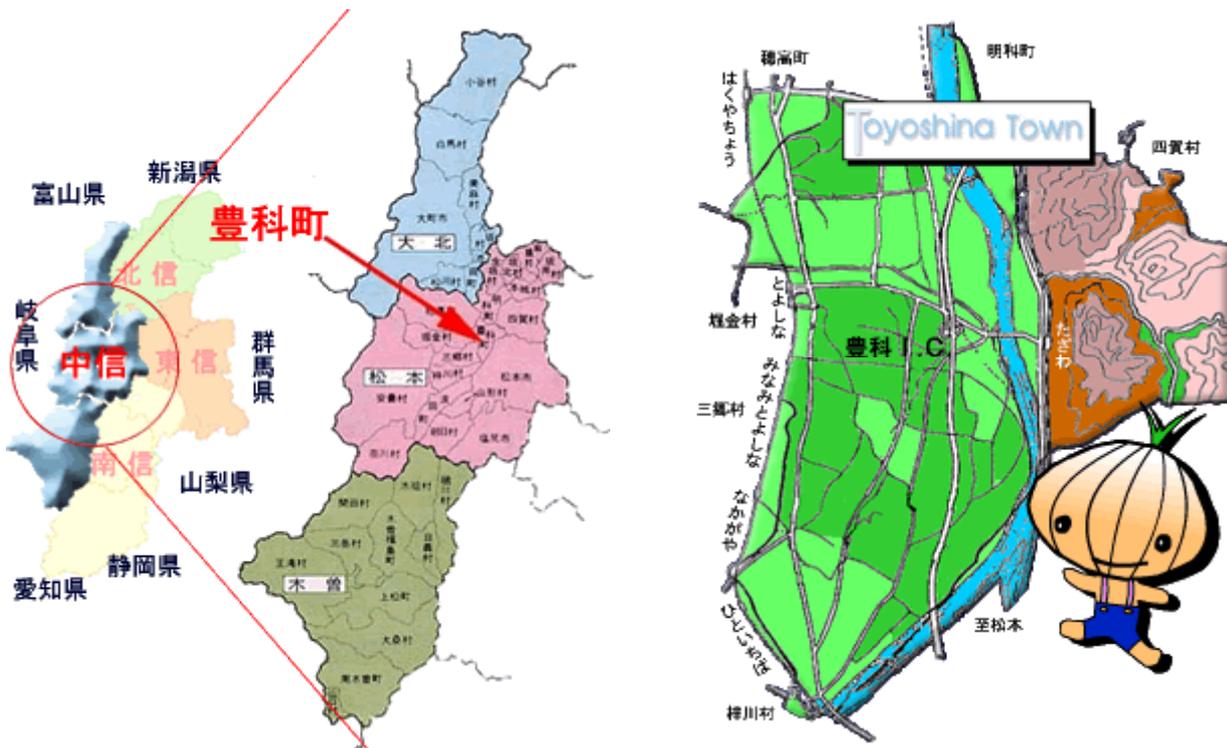
位置・地勢



豊科町の位置・地勢について掲載しています。

位置と地勢

豊科町は、長野県のほぼ中央にある安曇野の中心部に位置します。東は四賀村に、西は堀金村・三郷村に、南は松本市・梓川村に、そして北は穂高町・明科町にそれぞれ接しています。北緯36°17'40"東経137°54'38"広ぼう東西7.75Km南北10.5Km周囲37.0Km面積39.11Km²です。総面積の75%は複合扇状地上にあり、標高550m前後の地味肥よくな水田地帯になっています。それ以外の25%は、山林や段丘地に分類されます。



町の基礎体力

2004県民手帳より

面積	39.11km	老年人口割合	22.3% (H15.4.1)
人口	27,437人 (H15.4.1)	人口密度	116.7人/Km ² (H15.4.1)
世帯	9,907戸 (H15.4.1)	有権者	21,628人 (H14.9.1)
農業 (H12.2.1)			

農家人口	7,265人	農業粗生産額	約21億円
工業(H14.12.31)			
事業所	84所	年間製造品出荷額	3,567億円
商業(H14.6.1)			
事業所	336所	年間商品販売額額	684億円

Toyoshina Town

信州 安曇野 豊

豊科町の紹介



豊科町のシンボル、概要、環境、イベント、観光等を掲載しています。

町の概要

豊科町は、長野県のほぼ中央に位置する安曇野の中心地で、西に雄大な北アルプス連峰、東に美ヶ原高原を望むことができる梓川扇状地に展開する肥沃で自然豊かな田園都市である。四方を山岳に囲まれた盆地で、地勢は25%の段丘地、山林を除いて安曇野と呼ばれる海拔550m前後の平地である。気候は、月平均温度の年較差が24.9度と大きく、典型的な内陸性の性状を呈している。年平均温度も11.1度と低く冷涼な気候である。また年間降水量は少なく、日照時間が長く風災害もほとんどなく、住みよい気候条件を備えている。

本町の基幹産業は、名水百選にも選ばれた清冽な湧水を利用したわさび栽培及び安曇米で知られる稲作を中心とした農業と、電気・精密機械器具製造を中心としたハイテク産業で、特に工業製品の製造出荷額は、県内町村のトップに位置している。



町章

町のシンボル

花	スズラン・アヤメ・シバザクラ
木	ケヤキ・コブシ・ドウダンツツジ

自然・気候

雄大な北アルプスの裾野に広がる安曇野は、昔から山紫水明の地として知られています。北アルプスの稜線を見晴らす田園風景は「豊科町」の象徴ともいえましょう。清らかで豊富な水の流れも豊科町の自慢。町を南北に貫く犀川には冬期、500羽を超える白鳥が飛来してきます。

気候は典型的な内陸性気候です。降水量は年間1000mm前後で、気候は-11.7度から34.8度と年較差が大きく、さらに日較差も大きいことから、良質な農作物を育成する条件を満たしています。

自然環境

昭和60年	環境庁主催日本名水百選「安曇野わさび田湧水群」
昭和61年	環境庁主催「青空の街」ベスト40

昭和62年	環境庁主催「星空の街」108選 (3部門揃って選ばれたのは宮崎県綾町と豊科町だけ)
平成7年	国土庁主催 安曇野地域「水の郷」認定

名水「安曇野わさび田湧水群」

扇状地下をくぐり抜けた北アルプスの雪どけ水が、約半年後に町北部一帯に湧出する「安曇野わさび田湧水群」。

昭和60年に環境庁から名水百選の一つに選定され、平成7年3月には国土庁から湧水群周辺地域を「水の郷」とする認定を受けました。

厚生省の「おいしい水の条件」をことごとく満たしたその優れた水質と、日量70万トンという豊富な湧出量を生かして、わさび栽培、ニジマスの養殖にと、特色ある地域産業の形成にも大きな役割を果たしてきています。

平成7年9月には、水環境保全市町村連絡協議会及びシンポジウム(名水サミット)を開催しました。



代表的イベント

奇祭「福俵引き」	(1月15日)毎年14日か15日
アカシヤ祭り	(5月下旬)
あづみ野祭り	(8月初旬)

観光

見る

豊科町郷土博物館
飯沼飛行士記念館
田淵行男記念館
豊科近代美術館
犀川ダム湖の白鳥 (10月下旬～翌年3月初旬)

遊ぶ(体験含む)

豊科カントリー倶楽部 でゴルフを
光城山(桜の名所) でハイキング
レンタサイクルで 道祖神巡り
雪形探訪 (4月下旬～5月中旬)
安曇野スイス村 で乗馬を
あづみ野ガラス工房 でガラス手作り体験を
ブレッジ安曇野 で各種農業体験を
最後に 豊科温泉湯多里山の神 で疲れをいやす

食べる・買う

ソバ・ワサビ・野沢菜漬・ニジマス・地酒・一刀彫

日本で初めて玉ねぎだけで作った「玉ねぎの酒元気くん」を町内各酒店で販売しています

Toyoshina Town

信州 安曇野 豊科

人口推移



豊科町の人口・推移について、掲載しています。

町の人口と世帯数(平成16年9月1日現在)

	住民基本台帳 登録者数	外国人登録者数	豊科町の人口 (外国人含む)
人口	27,190人	686人	27,894人
男	13,189人	291人	13,480人
女	14,001人	413人	14,414人
世帯数	9,933世帯	498世帯	10,431世帯

人口動態の推移

	世帯数	人口			一世帯当たり構成人数
		総数	男	女	
大正9年	2,982	14,655	7,158	7,497	4.91
14	2,976	14,629	7,039	7,590	4.92
昭和5年	3,026	15,438	7,370	8,068	5.1
10	3,019	15,130	7,113	8,017	5.01
15	3,042	15,702	7,194	8,508	5.16
22	3,643	20,093	9,097	10,996	5.52
25	3,714	19,898	9,065	10,833	5.36
30	3,777	18,826	8,757	10,069	4.98
35	4,009	18,629	8,502	10,127	4.65
40	4,468	19,338	8,787	10,551	4.33
45	5,085	20,046	9,218	10,828	3.94
50	5,849	22,040	10,385	11,655	3.77
55	6,726	23,825	11,406	12,419	3.54
60	7,089	24,735	11,792	12,943	3.49
平成2年	7,709	25,265	11,977	13,288	3.28
7	8,302	26,027	12,445	13,582	3.14
12	9,426	27,079	12,945	14,134	2.87

資料: 国勢調査

人口動態の推移

人口動態の推移

(単位: 人)

	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
転入	879	1,147	1,193	1,255	1,376	1,700	1,565
転出	1,194	1,145	1,003	1,140	1,245	1,426	1,534
出生	310	160	376	269	257	243	231
死亡	169	145	200	179	212	223	225

資料: 毎月人口異動調査

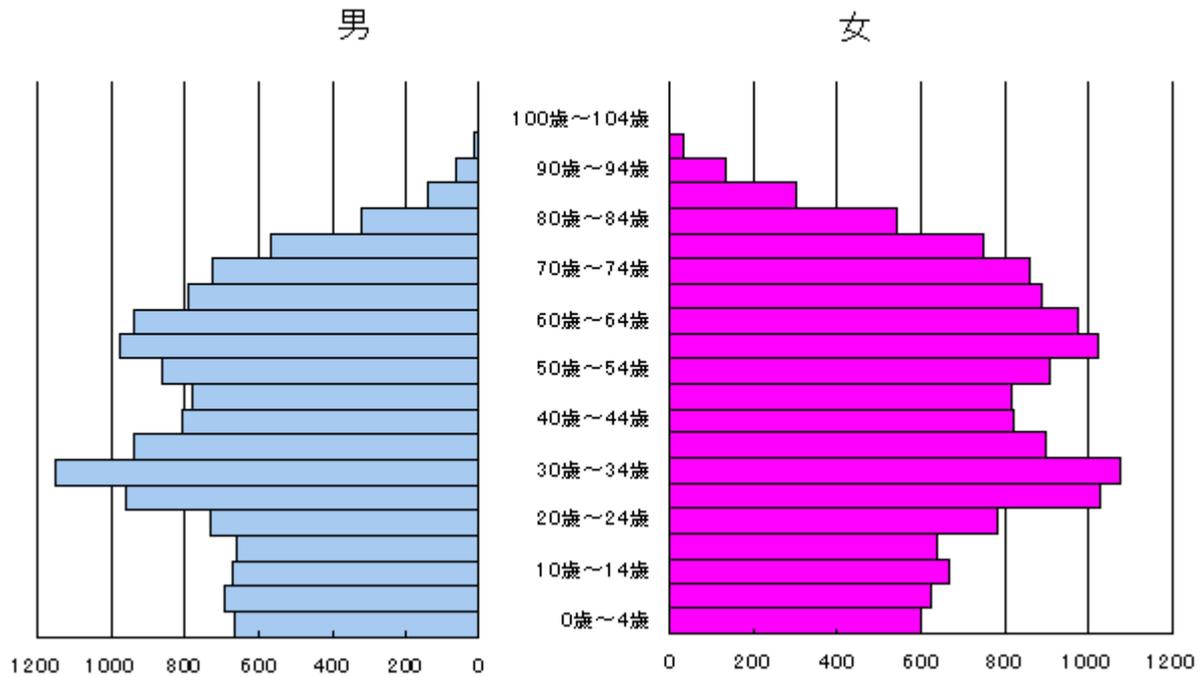
昼夜間人口の推移

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
常駐人口	22,040	23,825	24,735	25,265	26,027	27,079
流入	4,181	5,324	6,524	7,873	8,068	9,595
流出	4,051	5,186	5,939	6,774	7,565	7,439
昼間人口	22,170	23,963	25,320	26,364	26,530	29,235
昼間人口と常駐人口の差	130	138	585	1,099	503	2,156

資料: 国勢調査

人口動態・昼夜間人口の推移

○人口ピラミッド(年齢別人口 平成16年度8月1日現在)



人口ピラミッド





プラスチック製容器包装の出し方について掲載しています。



プラスチック製容器包装

基本ルール

1. プラマークの表示があるものを出す。
容器・包装の本体(カップ)にまとめて表示があるものと、構成部分(フタ)にも表示があるものもあります。
商品が入っていたプラスチック、ビニール製の容器・包装物を出す。
2. 汚れていないものを出す。
汚れているものは水でゆすぐかふき取り、乾かしてから出す。
汚れがとれないものは「燃えるごみ」に出す。
3. もえないごみ専用袋に入れて出す。
袋の正面にマジックで、「プラ」と明記する。
4. 資源ステーションに出す。

プラの対象となる物の例

商品を入れていたプラスチック、ビニール製の容器や包装です。

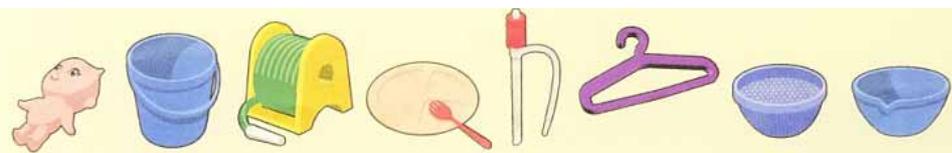
注意事項

レジ袋は小さく縛って出す。
汚れているものは洗ったりふきとったりし、きれいにし出す。
汚れが取れないものは、燃えるごみに出す。
肉や魚の臭いが残らないよう、きれいに洗って出す。
貼ってあるラベルやシールは、はがさなくてよい。
容器の圧縮をするため、キャップ類はボトル、チューブ類からはずす。
飲み物としょうゆのペットボトルは古紙・ペットボトルの日に出す。
レジ袋等にまとめて入れない。
ガラス、金属等の異物は入れない。



プラの対象とならない物の例

材質がプラスチック、ビニール製のものであっても商品そのものは出せません。



可燃ごみ・不燃ごみの量(穂高広域施設組合搬入量)

(単位:ト)

家庭系		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
	可燃ごみ		4,358	4,237	4,380	4,275	3,949
不燃ごみ		237	234	218	210	208	200

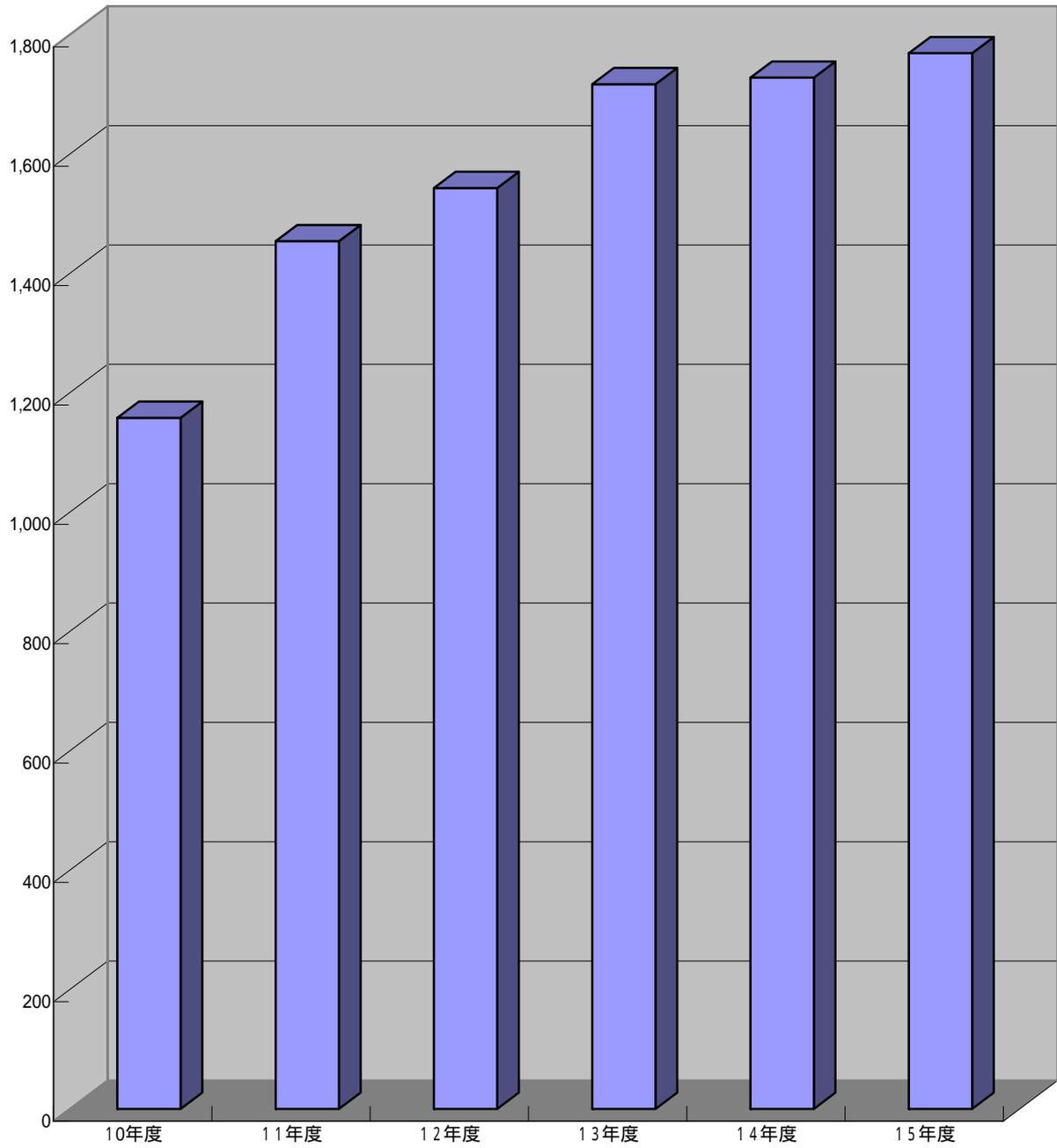
資源物(リサイクル)の回収量

(単位:ト)

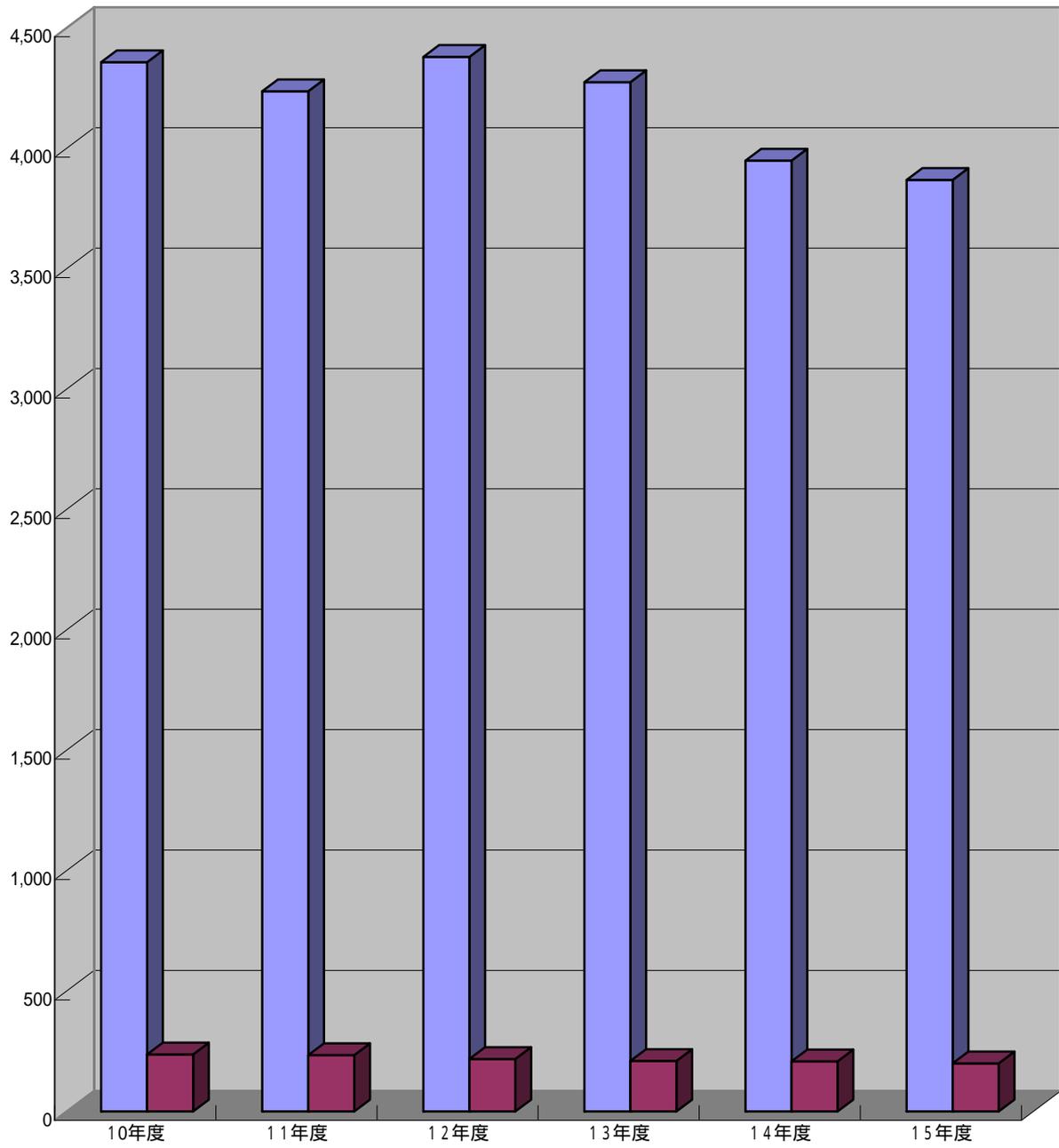
	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
ガラス類	129	178	159	162	142	141
古紙類	926	1,142	1,222	1,379	1,374	1,334
金物類	41	53	56	56	53	48
ペットボトル	10	20	23	27	30	30
トレイ	4	7	7	8	7	6
古着	48	54	60	69	60	54
乾電池			11	10	9	9
蛍光管			5	6	5	5
紙製容器包装					17	56
プラスチック製容器包装					31	86
計	1,158	1,454	1,543	1,717	1,728	1,769

10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
1,158	1,454	1,543	1,717	1,728	1,769

資源物(リサイクル)回収量推移



家庭系ごみの量



豊科町のリサイクル事業状況

平成16年9月

容器包装リサイクル協会ルートによるもの

(単位:kg)
(単位:円)

事業年度		10	11	12	13	14	15
ペットボトル	収集量	9,620	19,230	23,090	27,460	29,845	29,950
	保管・中間処理料	445,557	912,399	1,212,225	1,441,650	2,036,897	2,044,085
びん(無色・茶色)	収集量	85,710	100,920	107,920	117,670	116,830	113,320
	保管・中間処理料	184,002	529,824	581,537	617,757	613,353	594,927
プラスチック容器包装	収集量					31,460	86,370
	保管・中間処理料					2,194,080	6,801,633
紙容器包装	収集量					16,990	55,950
	保管・中間処理料					1,070,370	2,937,373
計	収集量	95,330	120,150	131,010	145,130	195,125	285,590
	保管・中間処理料	629,559	1,442,223	1,793,762	2,059,407	5,914,700	12,378,018

* プラスチック製・紙製容器包装の分別収集平成14年10月から実施

資源物(リサイクル)回収量(協会ルート以外)

(単位:kg)

事業年度	10	11	12	13	14	15
びん(混色等)	43,698	77,520	50,880	44,799	25,661	27,068
古紙類	925,900	1,141,940	1,221,920	1,378,800	1,372,990	1,334,140
古着	47,630	54,120	60,170	68,970	59,580	54,170
缶類	41,410	52,830	55,740	56,050	52,760	48,240
トレイ類	4,380	7,350	7,160	8,070	7,570	6,010
蛍光管・乾電池			15,621	15,789	13,433	13,732
計	1,063,018	1,333,760	1,411,491	1,572,478	1,531,994	1,483,360
資源物(リサイクル)回収量合計	1,158,348	1,453,910	1,542,501	1,717,608	1,727,119	1,768,950

収集運搬等リサイクル費用の状況

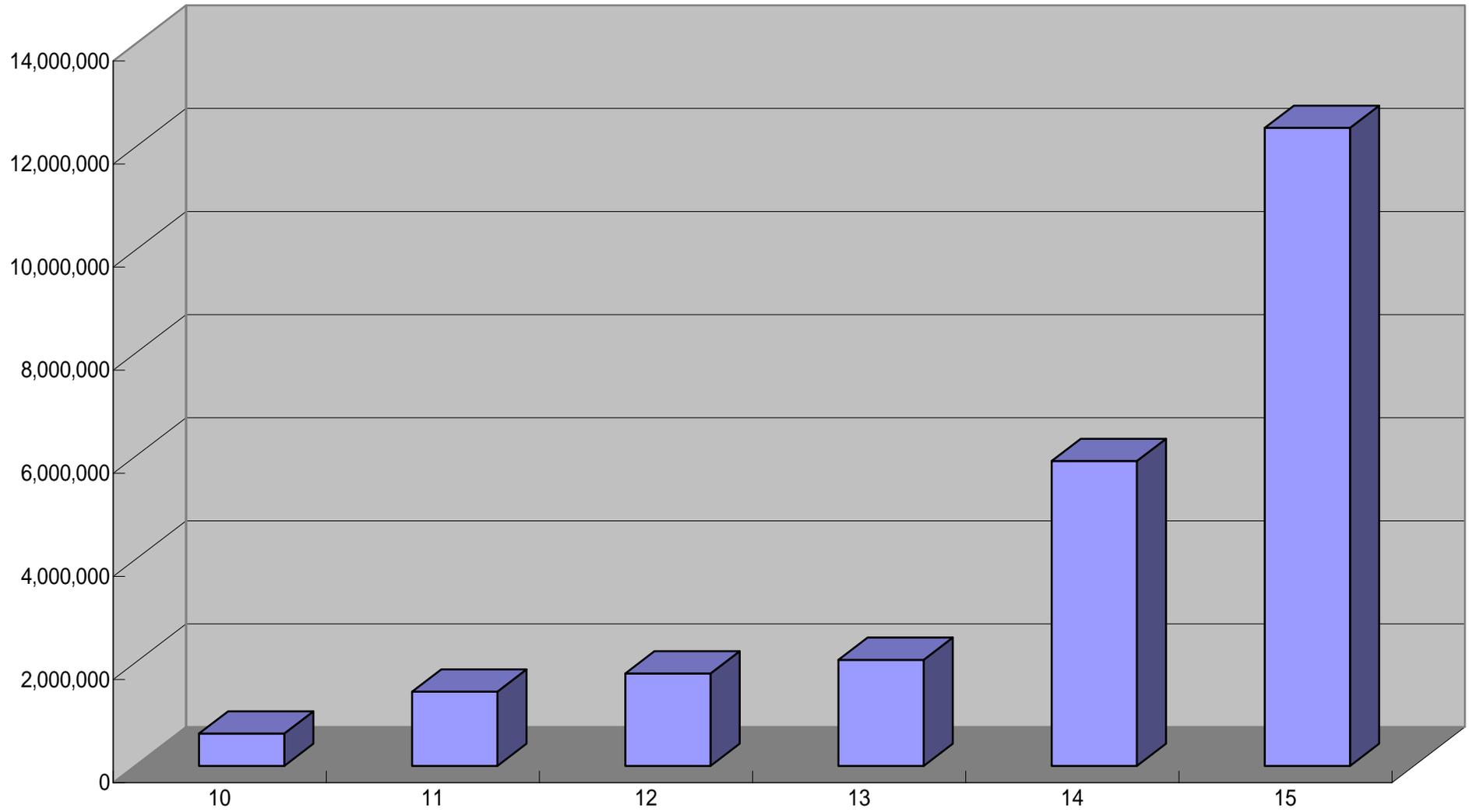
(単位:円)

事業年度	10	11	12	13	14	15
収集運搬費用	7,077,000	11,025,000	13,975,500	15,199,800	19,875,450	28,274,400
保管・中間処理料(協会ルート以外)	91,980	169,785	2,555,676	5,920,835	7,314,367	4,358,042
容器包装リサイクル協会再商品化委託料	60,700	221,915	106,130	109,250	369,633	716,496
リサイクル委託費用合計	7,859,239	12,858,923	18,431,068	23,289,292	33,474,150	45,726,956

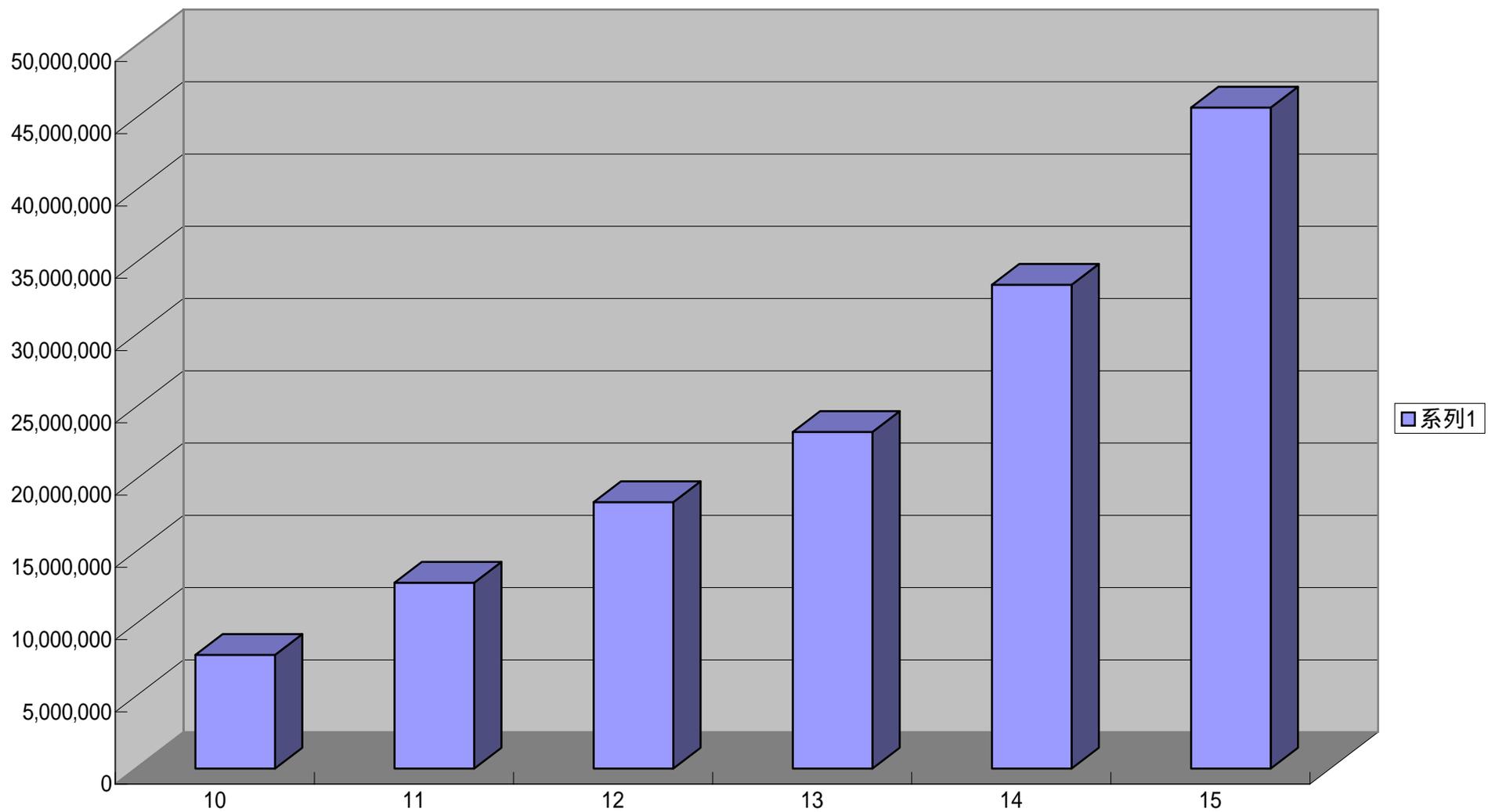
資源売却収入

事業年度	10	11	12	13	14	15
アルミ缶	675,940	929,250	988,650	1,076,400	1,060,200	868,270
古紙類(新聞・ダンボール・紙パック)	48,915	40,600	37,800	8,700		1,833,620
収入合計	724,855	969,850	1,026,450	1,085,100	1,060,200	2,701,890

年度別協会ルート費用

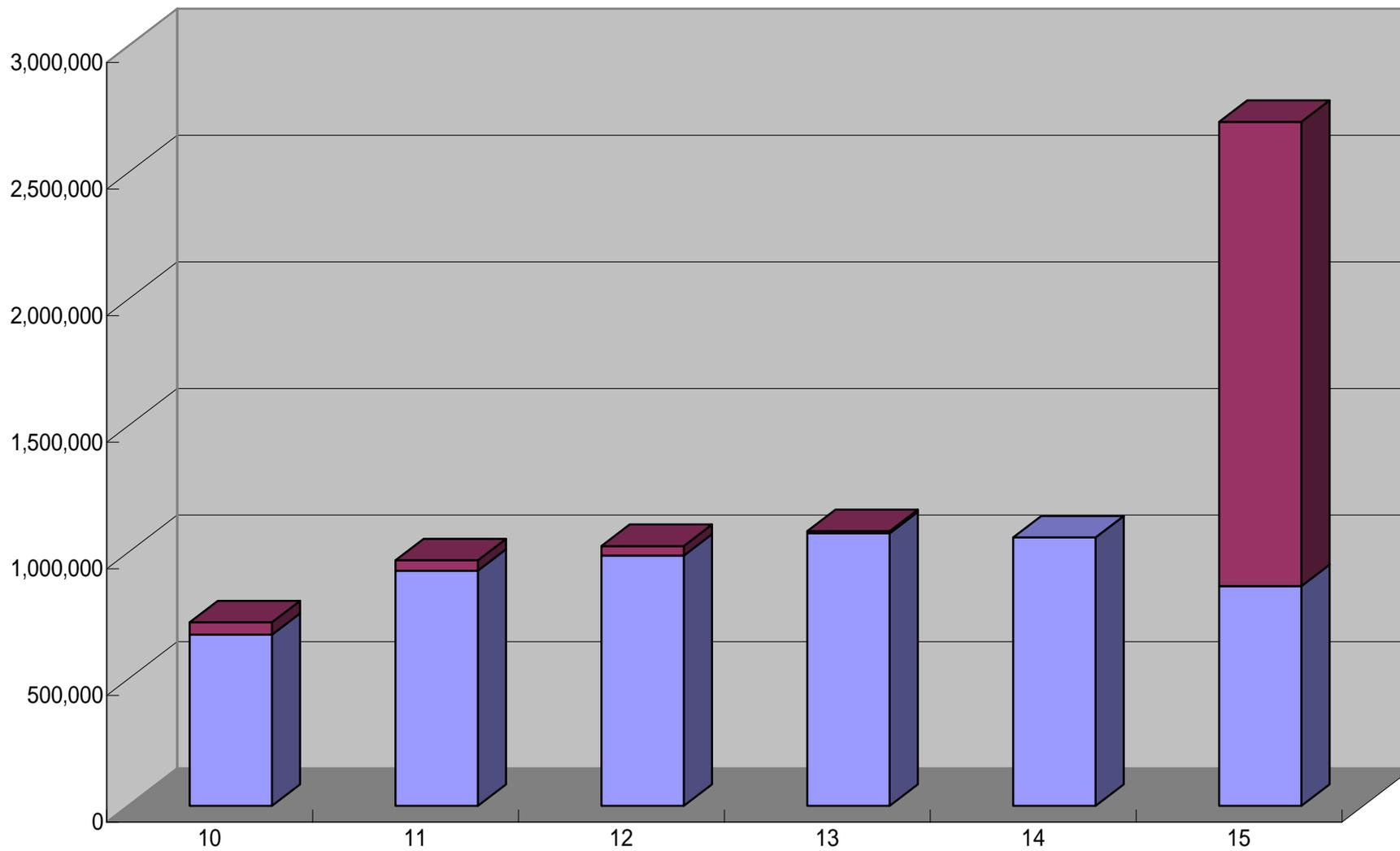


年度別リサイクル委託費用



年度別リサイクルによる収入

- 古紙類(新聞・ダンホー・ル・紙パック)
- アルミ缶



ごみ減量化とリサイクル推進の取組み

(資料 可燃ごみ・不燃ごみの量 資源物の回収量)

〔豊科町のごみ処理〕

穂高広域施設組合の穂高クリーンセンターへ搬入処理
(焼却・不燃ごみ破碎等)

《穂高広域施設組合は、最終処分場がないため焼却灰や不燃ごみの埋立て処理は、県内の民間管理型最終処分場への委託》

《穂高広域施設組合は、リサイクル施設がないため資源物の保管と中間処理(梱包等)は民間業者委託》

* 焼却灰等の埋立てを減らすことが、組織町村の共通課題となる。

・具体的な対策

焼却灰が少ない流動床炉を採用

リサイクル推進を図り、可燃ごみの量を減量化

平成8年度～(古紙をリサイクルし、可燃ごみを減らす 焼却灰を減らす)

リサイクル推進を図り、埋立ての不燃ごみを減量化

平成8年度～(ガラスびんのリサイクルで、埋立ての不燃ごみを減らす)

可燃ごみの有料化(処理費用の一部を有料化 30リットル袋当たり30円)

平成13年10月～(可燃ごみを減らす 焼却灰を減らす)

プラスチック製・紙製容器包装分別収集で一層のリサイクル推進

平成14年10月～(プラスチック製・紙製容器包装リサイクルで、可燃ごみを減らす 焼却灰を減らす)

効 果

可燃ごみ 平成12年度以降3年連続家庭系可燃ごみ減量達成

不燃ごみ 平成8年度445トンから半減

リサイクル事業 平成15年度過去最高の収集量

リサイクル事業推進と豊科町の処理費用

(資料 豊科町のリサイクル事業状況)

・協会ルートのリサイクル費用状況

プラスチック製・紙製容器包装の分別収集による負担増

保管・中間処理費用が実施前の6倍(13・15年度比較)

収集運搬に係る費用の増加 1.86倍(13・15年度比較)

増加理由

保管・中間処理費用が高いこと。

プラスチック製容器包装 1kg当たり75円(15年度)

紙製容器包装 1kg当たり50円(15年度)

プラスチック製容器包装を毎週1回収集しているため。

(他の資源物は、各品目月1回の収集)

- ・ リサイクル費用と収入
資源物売却は、相場で変動する。 14・15年度の比較
(古紙の一部に14年度まで処理費用がかかっていた。)
リサイクル委託費用が、平成10年度と比較すると5.8倍(15年度)
「資源化貧乏」 リサイクル事業を推進するほど費用が増大

豊科町のリサイクル事業の特徴

分別と排出までは、住民が責任を持つ。《リサイクルは住民協働で成立》

住民が16分別をして、品目ごとの決められた日に資源ステーションに出す。
資源の日(出す日)は、住民の代表(当番)が資源ステーションを管理。
混合排出はなく、選別経費をかけない。

プラスチック製・紙製容器包装の分別収集(平成14年10月~)を実施のため
「資源の出し方手引き」作成・配布

町内の全自治会組織で説明会を実施(84回、4000人が参加)
整然と分別排出ができるように、現在も資源の日(出す日)は職員が巡回指導。

容器包装リサイクル法の改正にあたって

- ・ 「資源化貧乏」の解消
- ・ 事業所から出る容器包装廃棄物のリサイクル
- ・ 住民の分別ストレスの解消
 - 市町村ごとに違う分別(転入者は分別できない。)
 - 識別表示が小さいこと(高齢者等には、表示が分からない。)
 - 同じ容器に2種類の表示(高齢者等には、表示が分からない。)
 - 材質が同じでも容器包装でないと対象外(メーカーでも誤った表示例あり)
 - リサイクルが困難なものにも表示
- ・ リサイクル推進で大量リサイクル社会
 - 使い捨て容器でもリサイクルできているからよい。
 - 再使用(リユース)できる容器すらリサイクルになってしまう。
 - 発生抑制も必要ではないか。